



堂々とした語りを披露し、会場を沸かせた牛坂さん(左)と高橋さん

民話 語り部は小学生

「松川の昔話」で初挑戦

福島市の松陵義務教育学校5年の牛坂まことさん(11)と高橋滯佳さん(11)は、同市の松川学習センターで開かれた「松川の昔話」で初めて民話の語り部を務めた。2人は「もっと上達していろいろな民話を話せるようになりたい」と声をそろえる。

絵本や読み聞かせを通じて昔話に親しんできた。高橋さんは「方言のなまりや言葉遣いが普段と違っている」と話す。昨年に学校で開かれた民話教室で地元の語り部らでつくる「松川民話の会」の語りを聞いた。明るい性格で普段から話すことが好きな2人は「みんなの前でやってみたい」と思ったという。同会に知り合いがいた牛坂さんの母を通じて「弟子入り」した。9月20日の本番約1カ月前から練習に励んだ。牛坂さんは「みんなに伝えたい」と思った。本番では「すごく緊張したし、少しミスをしてしまったけれど、自分なりにしっかり話せた」と2人。大人顔負けの堂々とした語り

に、会場からは大きな拍手が送られた。終了後、会場で見守った家族や同会の会員から褒められたという「やって良かった」と思ったと充実した表情を見せた。昨年、高橋さんの担任だった教諭の早川雄一郎さん(58)は「地域のことを知るための学習で民話教室を行った。そこで興味を持ち、自主的に取り組んでくれた。うれい」と目を細めた。渡部さんは「練習で見つけた課題を修正して、やる気を感じた。立派でした」とたたえた。

松陵義務教育学校 牛坂さんと高橋さん

▲10月28日 福島民友新聞掲載

みなさんの地域にはどんな民話がありますか？



記事を読んだ感想や意見を書いてみよう。

(When) いつ？

(Where) どこで？

(Who) だれが？

(What) 何を？

(How) どのように練習を進めた？

(Why) なぜ民話の語り部をしようと思った？